

OSA 棒鋼部会8月流通動態

異形棒販売、18.1%減の2万6331トン

〔大阪〕大阪鉄鋼流通協会（OSA）の棒鋼部会が発表した8月の流通動態調査（14社報告）によると、異形棒鋼の販売量は2万6331トンで前月比18・1%の減少となった。販売量の内訳は実需向けが2万3928トンで同18・1%の減少、販売業者向けが2403トンで同17・9%の減少。仕入量は2万7060トンで同16・7%の減少、在庫量は6103トンで同13・6%の増加、契約残は6万1095トンで同1・7%の増加となった。その他の品種については以下の通り。

▽平鋼Ⅱ仕入量が6576トンで前月比11・0%の増加、販売量が6118トンで同1・9%の減少（うち販売業者向けは4755トンで1・2%減）、在庫量は1万3700トンで同3・5%の増加、契約残が6715トンで同横ばい。

▽構造用丸鋼Ⅱ仕入量が1638トンで同7・9%の増加、販売量が1470トンで同11・3%の減少（同684トンで7・3%減）、在庫量は2284トンで同7・9%の増加、契約残が1125トンで同9・1%の減少。

▽角鋼Ⅱ仕入量が437トンで同46・6%の増加、販

売量が408トンで同1・2%の減少（同293トンで3・9%減）、在庫量は963トンで同3・1%の増加、契約残が285トンで同2・4%の減少。

エア・ウオーター 岩手県にV S U建設

エア・ウオーターは、東北地区における産業・医療用ガスの安定供給強化を目的に、岩手県紫波郡にV S U（高効率小型液化酸素窒素製造設備）を建設する。16基目となるこのV S Uは、同社にとって北東北地方（青森県、秋田県、岩手県）では初の自社製造拠点となり、北東北地方のガス需要に広げていく。また、東北地方全域に対する安定供給と長距離物流に伴う環境負荷の低減を図るとともに、災害に強い安定供給ネットワークを構築する。

■新日鉄興和不動産が事業協力者と参加組合員として事業を推進してきた「赤坂インターシティAIR」が29日にグランドオープンする。

「赤坂インターシティAIR」は、ハイスベックなオフィスを中心に、コンファレンス、商業、医療、住宅から構成される地上38階建て、高さ205メートルの大規模複合ビルだ。

■新日鉄住金ソリューションズは、東京大学経済学部で「ITと産業」をテーマとした講義を行う。開催は9月27日から来年1月10日まで、全13回。

▽：ステンレス薄・厚板やニッケル合金を扱うイノウエ（東京都千代田区）の井上浩樹社長は、会社の「デジタル改革」を推進する。社長となって約4カ月たち「ISO9001の2015年度版への更新などやるのが多く、ずっと走っている感覚。最近、社内での営業支援システムを一元管理の体系にした」と多忙ながらも充実感を漂わす。アナログだった社員とのスケジューリング管理や業務報告、顧客情報管理をクラウドで共有し、端的・迅速に把握するのが効率的な業務につながる。▽：「一気に3段階くらいデジタル化を進めた」ため、社内の戸惑いを懸念し

「社内デジタル改革推進、常に変化」(イノウエ)

だが「ベテランメンバーも前向きに取り組んでくれて驚いている」と話す。人材育成に関わる業務フローの作成・共有にも取り組む。井上社長がこれらの施策を考えるなか「日立製作所の方から『デジタル武裝を、情熱的で磨かれた人間性のある集団であってほしい』と期待をかけた」と振り返る。▽：17年度の上期業績は、売上高は前年同期比でほぼ横ばい見込みと踏ん張っている。18年度からは、国内外で発電関連の案件が動く想定し、材料・加工の枠を超えたエンジニアリング業務に取り組んでいる。航空機エンジン、車両分野への拡張もチャンスがある

記者室

と感じている。デジタル改革を進める一方で、人間がAIに勝てる分野は「課題の抽出」「スピード感のある課題の解決」と思っている。営業社員を中心に「そうだ筋・トレ（現場での営業）しよう」とのコピーで、顧客のところへ一層しきり足しげく通うよう促している。▽：最近では米・ゼネラルエレクトロニクス（GE）の劇的な業績回復を描く「GE巨人の復活」を熟読した。米グループなど世界のIT企業を手本として「変わることを恐れない」姿勢で復活したGEの考えに共感した。「社員がやりたい、変えたいことに前向きに取り組む、力を合わせて実らせるのがイノウエのDNA」と語る。大所帯ではないが、23人の社員からのボトムアップが会社を支え、成長させる

（太）